

## 2014年2月:JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項 目	記 載 内 容
<b>論文</b>		
1	著者名	小島 肇夫
	題名	技術講座 安全性評価試験(28) 動物実験代替法を巡る動向2013年
	雑誌名、巻(号)、ページ、年	COSME TECH JAPAN, 4(3)36-41(2014)
2	著者名	小島 肇夫
	題名	動物実験代替法を用いた「これからの化粧品・医薬部外品の安全性評価とその根拠の示し方」
	雑誌名、巻(号)、ページ、年	COSMETIC STAGE, 8(3)1-8(2014)
3	著者名	小島 肇夫
	題名	代替試験法の重要性とJaCVAMの貢献, および代替法の推進のための問題
	雑誌名、巻(号)、ページ、年	消費者法ニュース, No.98, 186-187(2014)
<b>レギュラトリーサイエンス学会</b>		
1	参加者名	小島 肇
	会議名 (英文の場合は和訳も記載)	OECD skin sensitization assay expert group (OECD 皮膚感作性試験専門家グループ会議)
	開催場所、年月	パリ (フランス) , 2014年2月12-14日
	会議内容 (150字以内)	OECD 皮膚感作性試験専門家会議に参加し, DPRA (ペプチド結合試験) およびKeratinoSens試験法ガイドライン案の内容について討論した.